

第257回例会

第255回例会記録 (7月2日)

* 司会 外山定男会長 * 斉唱 君が代 奉仕の理想

* ビジター 渡辺信一君 (名古屋RC、合板)

棟方 忠君 函館RC新会長他11名

荒谷武四郎君 函館東RC10名

* 記念品贈呈 前会長 深瀬 一郎君へ

前幹事 下郡山信一君へ

* 交換学生 エリザベス・アンリユバル嬢

函館へ参りまして早、1年が過ぎてしまいました。私を函館におまねき頂き感激致しております。私がお世話になりましたお家は、大変よい家庭で、日本の事が大変よくわかりました。帰国してからも日本語をもつと勉強し、また日本に来たいと思っております。その時は日本語ももつと上手になつて来ると思っています。

* 函館RC新会長棟方忠君挨拶

函館RCの会長と云う重責をうける事になりました。公私共宜しくお願い申し上げます。となりは鷲尾英一新幹事でございます。宜しくお願い致します。

* 函館東RC新幹事杉本力夫君挨拶

新会長一緒に参る予定でございましたが都合で後日御挨拶に参上すると思っております。私幹事をおひき受け致しましたが宜しくお願い致します。

* 幹事報告

1. 本日例会終了後理事を開きます。新旧理事の方ご参集下さい。

* ニコニコ、ボツクス

1. 誕生祝 塚田次郎会員 下郡山信一会員 角谷隆一会員 神原金一会員
新善次会員 関本宏会員 飯田神生会員 野村宜市会員おめでとございます。

2. 結婚祝 山辺繁樹会員 野村宜市会員おめでと。何時迄もお幸に!

3. 函館RC新会員棟方忠君 新幹事鷲尾英一君より会長、幹事就任として。

4. 市川芳夫会員射撃でまたまた好成績

* 新会長挨拶 外山定男君

"REVIEWandRENEW"RI会長の方針です再検討し刷新する。分担されて

ガム-2対話

10/8

"69-70年度350地区ガバナー秋山康之進君

国際ロータリー細則第12条第5節の規定によつて、地区指定委員会は、審議を重ねました結果、第350地区"69-70"年度地区ガバナーノミネー候補者として、札幌ロータリークラブ会員、秋山康之進君を指名することに決定致しました。秋山康之進君の略歴をご紹介申し上げます。

生年月日 1909年11月28日

現住所 札幌市南1条西5丁目7

学歴 明治薬学専門学校卒業

職歴 株式会社 秋山愛生館社長 北海道麻薬協会会長

職業分類 シニアアクティブ (医薬品販売)

ロータリー歴 札幌RC幹事、副会長、会長歴任、4分区代理、千才RC設立の特別代表歴任、現在地区資金委員、東京、デンバー、ニース国際大会出席。

本日のプログラム

卓話 "ロータリー情報について"

飯田神生会員

"雑談" 新善次会員

第256回例会記録

* 司会 外山定男会長 * 斉唱 手に手つないで

* ビジター 函館RC 棟方忠君外9名

函館東RC 北野治君外13名

* 函館東RC 北野治会長就任挨拶

私、この度函館東RC会長になりました北野でございます。

函館RC、函館北RCの皆様の御援助を頂きながら、1年を過したいと考えております。特に北RCは、私の所と深い関係にもあります。例会日北RCの皆様多数メーキャップして頂き、にぎやかにして行きたいと思っております。今後どうぞ宜しくお願い致します。

* 幹事報告

1. ガバナー公式訪問の日程が決まりました。当クラブは、10月8日

2. 旭川地区協議会で話が出ましたが、札幌冬期オリンピックの聖火台建設に協力することになりました。1人金額年500円3年連続事業です。

3. 例会終了後理事会を開催します。

※ ニコニコボックス

1. 函館東RC北野治会員より、会長就任祝として
2. 函館東RC西村敏雄会員より、市議会議長就任祝として

※ 会員卓話 “北洋サケ・マス漁業今昔” 川筋乙五郎会員

戦前戦後の北洋漁業は、深い関心があります。この問題について、色々を面にわたり数字等を上げ説明され、又ソ連と日本の漁獲の関係も新聞等によつて知る事の出来ないことがらを話され、会員一同熱のこもつた話に耳をかたむけておりました。

※ ウィリアム・ウォーク氏R.I.会長ノミニーに指名さる

米国カリフォルニア州オンタリオのウォーク、エチャソン、デヴィッドソン及びリーシュ法律事務所の共同経営者で、1948年以来ロータリーアンである、ウィリアムE・ウォーク、Jr氏が去る1月開催された国際ロータリー会長指定委員で、1970～71年度国際ロータリー会長ノミニー指名された。

ウォーク氏は、米国テネシー州コヴイントンに生れ、カリフォルニア州の南加大学から法学士の学位をとつた。彼はカリフォルニア州オンタリオのロータリークラブの会員で元会長である。彼はこれまで国際ロータリーの第1副会長、理事、地区ガバナー、委員会委員並び委員長、およびロータリー財団の管理委員として奉仕して来た。現在彼は国際ロータリーの1968～69年度広報委員会委員長である。ウォーク氏は今、法律事務所の仕事のほか、カリフォルニア州オンタリオ・ファースト・ナショナル銀行及びトラスト会社の取締役をしている。彼はまた、西サン・バーナディノ弁護士協会の元会長であり、ナショナル・トライアル弁護士協会および米国弁護士協会の会員である。さらに彼はサンアントニオ・コンミュニティ病院顧問およびサン・バーナディノ・エンドリバーサイド血液銀行の評議員であり、かつてカリフォルニア州アツブランド単科大学の理事をしたこともある。また彼はオンタリオ学校区会長・サン・バーナディノ及びリバーサイド郡訪問看護婦協会評議員、並びにオンタリオ都市計画委員会の委員である又彼は米国海軍中佐の経歴をも持っている。

※ 出席報告

今年度第1回例会出席率100% 今月も月間100%にしよう。

本日の出席	会員44名	出席33名	欠席11名
前回の出席	会員44名	出席44名	欠席0名 出席率100%
他クラブ状況	函館RC	97.65%	函館東RC 96.43%

拡大の条件=拡大手段を推進するうえで、とくに考慮しなければならない点がいくつかある。

そのオ1 真にその地域にとって有用な職業の中から企業の大小を問わず、指導力があり、影響力をもち、人望などをそなえた人を選ぶこと。

そのオ2 次の世代をにやう、若き有能な職業人を参加させることで、最近のように、生活環境生活内容が変化をしてきた新しい時代に即応した前向きの姿勢拡大をはかるべきである。

そのオ3 都市間ネットワークの進展に伴つて近隣の市や町で、ロータリー拡大の必要に迫られているところが少くない。従つてまだロータリークラブの結成されてない地域があれば進んでその職業人に呼びかけ、新クラブの結成に協力することが拡大の重要な課題となつている。

最近のクラブ会報では、ロータリー情報が時々記載され、遠藤前委員長と会報委員会の呼吸がびつたりあつていると痛感されます。246回例会の「ロータリーの誕生とその成長」250回例会の変遷(その1)からつづいて251回252回と連載され且つ育成すべき事項がはつきと説明されています。情報委員会である私達は、この6つの綱領を各委員会とも連絡を保ちつつ、奨励し育成することを実践して行きたいと思ひます。どうか会員の皆様の御協力をお願いします。

※ 随感 新善次会員

平野さんから15分の穴うめをせよとの事で時節柄「怪談」をお話上げます。怪談は、カブキ等で牡丹灯籠、四ッ谷怪談どかあります。

昨日東RCに出席致しましたが東別院の中島智円氏の法話があり、誠に結構なお話を頂きました。今日は怪談ですから、話が中途になつても後がなくてもよいと思ひます。会長さん時間になりましたら「カン」と鐘をならして下さい。この話は前の前の市長宗藤大陸氏が台港タカオ市長時代の事です。(会員特有なユーモアをもつて、モーレッツに恐い話を聞かして下さい、人間で云えば足首程からない様な形で話が時間切れで消えてしまいました。)

※ 出席の義務と時間の励行

ロータリークラブは、原則として一定の会館を持たず(最近例外が出て来ている)専従者もなく、1週1回の例会に、会員が集まつて顔を合せ、そこにロータリークラブが成立すると云うことを建前としている関係から、会員の例会出席には、厳重な申合せをしている。すなわち、例会に出席することは、任意ではなく会員のオ一の義務であつて、正会員は勿論、バスター、サービス会員、

シニア会員でも、故なくして連続4回例会を欠席せば、自動的に失格することになっている。また上期下期の6ヶ月間の平均出席率が60%未満の場合も自動的に失格する。これについては、例会の前後6日の間に、他のクラブの例会に出席してその欠席を補填するか、または相当の理由があつて理事会の承認を得たものは、失格を免れる規定があるという具合に、例会欠席に対する制裁は非常に厳しい。

また、ロータリアンは、ビジネスマンなので、各自の時間が大切である。その時間をさいて会合するのだから、各自のスケジュールは、最も尊重し合わなければならない。時間不励行については、非常に神経質になされる。各地に「函館時間」とか「何々時間」と時間不励行を一つの習慣として、会合の場合など、定刻に集まらないのが常識のようになっており、それが色々な面に悪影響を及ぼしているが、ロータリーだけは、各地とも時間を厳しく守っている。そして、わずかずつであるが、各地の時間不励行を匡正するに役立つているのは、ロータリーの一徳といえるだろう。

※ ポール・ハリスの晩年(その1)

1910年初代のロータリー全米連合会長、翌11年初代の国際ロータリー会長を勤めたポール・ハリスは、その頃から健康を損ね、ついに1912年ドールズにおける大会で、陰退を声明し、会長の職を退いた。まだ44才の壮年であつたが、その昔5年に亘る放浪生活が健康にたつたのであろう。その後はロータリーの表面には立たず、専らシカゴで静養の生活を続けた。ただ、シカゴの彼の法律事務所には毎日通つていたが、多くは家庭にあつて、ジーン夫人と共に読書に暮っていたという。ポールは、1935年67才の折、マニラの才5回ロータリー太洋大会へ出席の途中、ジーン夫人、当時のRI会長ロバート・ヒル夫妻と共に、日本をおとずれたことがある。我国のロータリアンは、この敬愛する珍客を迎えようと大いに張りきり、東京RC、横浜RC共催で、東京横浜両市で盛大な歓迎の準備を進めたが、同年2月6日横浜へ到着して同10日出帆の筈であつたその乗船のプリシデント・クーリツジ号が、天候不良のため同月9日に延着したため、歓迎のスケジュールに大番狂わせが来て、他地方のロータリアンは、その歓迎会に出席ができず、現地の京浜でもスケジュールを切詰め、大狼狽のうちに9月1日で、一行を東京見物させたり、昼は紅葉館での歓迎会、夜は京浜ロータリアンの家族を混えた歓迎晩饗会と、慌立しく歓迎した。次号続

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算才272号

1969~1970-7-23

函館北ロータリークラブ

第258回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

※ 69-70年度才一回例会より出席率連続100%

出席報告

本日の出席 会員数 44名 出席36名 欠席8名

前回の出席 会員数 44名 出席33名 他クラブ出席11名 100%

他クラブ状況 函館RC 90.52% 函館東RC 91.67%

本日のプログラム

会員卓話 " 函館の経済 "

函館商工会議所 田中精一郎

※ 月にロータリークラブ? 東京RC 週報より転載

テキサス州ヒューストンのスペース センターRCの名誉会員であるアポロ3号のポーマン・ラベル・アンダース三宇宙飛行士は、月旅行に際して同クラブの小型バーナー持参、そして月にロータリーを拡大する可能性について調査した。

その結果、スペースセンターRCは月に最初のロータリークラブを設立する権利を主張し、月で40の職業分類が出来た時には、すぐ月ロータリークラブの設立に着手すると声明している。さて、国際ロータリーがこの権利を認めるか、「月の住民」が定着するのは何時のことか、何れにせよ、月クラブのメイクアップは簡単に出来そうもない。ニューヨークの姉妹クラブの週報に転載された記事の再転載であるが月への夢はロータリーにまで及んで来たとしておこう。アポロ11号イーグル月面着陸 日本時間21日AM、5時17分40秒人類初の大冒険 — 第257回例会記録 7月16日 —

※ 司 会 外山定男会長 ※ 斉 唱 それでこそ、ロータリー